

業績ハイライト (2022年9月期)

中間純利益
(連結) **30** 億円 (前年同期比 △ 3 億円)

コア業務純益 **41** 億円 (前年同期比 + 2 億円)

貸出金残高
(9月末) **1兆9,700** 億円 (前年同期比 + 470 億円)

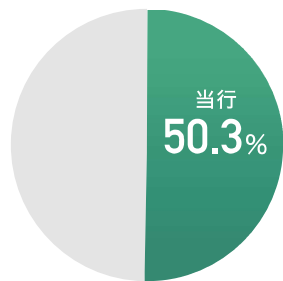
中小企業等
貸出金
(9月末) **1兆1,853** 億円 (前年同期比 + 279 億円)

預金等残高
(9月末) **3兆3,512** 億円 (前年同期比 + 819 億円)

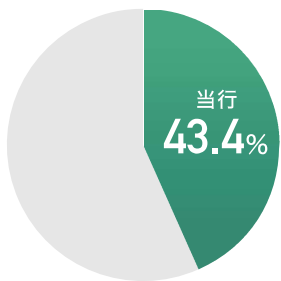
自己資本比率
(連結)
(9月末) **11.43%** (前年同期比 △ 0.36 ポイント)

県内シェア (2022年3月中平均残高ベース)

預金等県内シェア



貸出金県内シェア



※県内シェアは、国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)および信用金庫による割合です。

株式情報

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日

定時株主総会 毎年6月中に開催します

配当金の
基準日 期末配当: 3月31日
中間配当: 9月30日

1 単 元 の
株 式 数 100株

単 元 未 満
株 式 の
買 取 り 【取扱場所】
(特別口座)
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
【株主名簿管理人】
(特別口座)
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
電話: 0120-232-711 (フリーダイヤル)
受付時間: 土・日・祝日等を除く
平日9時~17時

公告掲載方法 電子公告により行います。
(当行ホームページ <https://www.iwatebank.co.jp/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によっ
て電子公告による公告をすることができない
場合は、盛岡市において発行する岩手日報及
び東京都において発行する日本経済新聞に
掲載して行います。

2022年12月発行
株式会社 岩手銀行 総合企画部 広報CSR室
〒020-8688 盛岡市中央通一丁目2番3号
TEL 019-623-1111 (代表)



ホームページ

いわぎんレポート2022

営業の中間ご報告 |
2022年4月1日 ▶ 2022年9月30日



ごあいさつ

代表取締役頭取

岩山 徹



平素より、岩手銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。

現在、当行の主要な営業基盤である岩手県の経済状況は、エネルギーを中心とした物価上昇や供給制約の影響を受けつつも、電気・輸送機械を主とする製造業の設備投資が活発化するなど持ち直し基調にあり、外国人観光客の入国制限解除や旅行支援の展開による観光や個人消費のさらなる回復も期待できる状況となっております。

こうしたなか、当行はお取引先企業のみならず、事業性理解を通じた対話を継続し、コロナ禍や円安による資源高などの影響を乗り切るべく、円滑な資金繰り支援に努めました。また、グループ総合力による様々な課題解決を通じて、お客さまの企業価値向上に向けた本業支援にも注力しております。

2022年度上期におきましては、昨今関心が高まっている脱炭素を地域で主導すべく、自治体との基本合意を拡大させ、脱炭素応援ローンも創設しました。また、デジタル面では、一層の利便性向上にむけ、アプリの機能強化を進めるとともに、データを活用したマーケティング支援事業を本格開始し、さらには、リソースを活用した協働による地域の活性化へ向けて、異業種との連携も進めました。これらの取り組みに加え、進めてきた経営体質強化と業務改革などの効果が現れており、中期経営計画の主要計数目標の達成も見えてきております。

当行が1932年に岩手殖産銀行として創業してから90年が経ちました。創業時に掲げた「地域社会の発展に貢献する」との経営理念は受け継がれ、現在もすべての活動の拠り所とし、地域とともに歩んでおります。地域銀行である私どもの成長は、地域の持続的発展なくして成し遂げることができません。人口減少や少子高齢化、デジタル化の推進など課題が山積するなか、みなさまとともに地域創生を推進し、その取り組みの牽引役を果たすため、現在は将来に向けた経営計画の策定を進めております。

当行はこれからも地域の発展に貢献し続けるため、役職員一同全力を尽くしてまいりますので、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

THE BANK OF IWATE 90th Anniversary

おかげさまで90周年。
感謝を力に変えて、さらに歩み続ける。
これからも。



1 地域の脱炭素支援

2022年9月、脱炭素経営に取組むお取引先の企業価値向上に向け、脱炭素応援ローンを創設しました。当行はオフセット・クレジットの販売パートナー連携などを進めており、本ローンを備えることで、地域社会の脱炭素化により一層貢献します。

【ご融資実績】

12先 3.6億円

(2022年11月10日現在)

2 アプリがより便利に

いわぎんアプリをバージョンアップし、アプリ上でカードローンの借入や返済が可能となりました。また住宅ローンやマイカーローンについて、残高照会や繰上返済が可能となり、より利便性が向上しました。

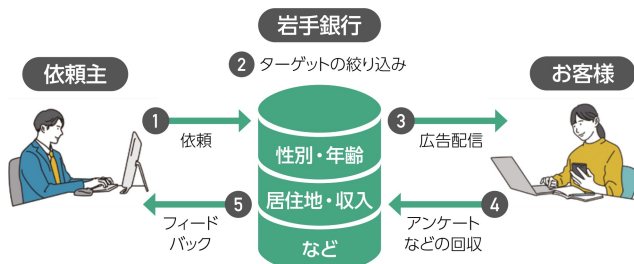


【いわぎんアプリ利用者数】

12万人 (2022年10月末)

3 新たな価値を提供

銀行法改正を受け、銀行に蓄積された豊富なデータや多様なチャネルなどの強みを基盤とした広告・マーケティング支援事業を本格的に開始しました。本事業を通じて、非金融分野での新たな収益モデルの確立を目指すとともに、地域のお客さまに付加価値の高いサービスを提供します。



4 地域の未来づくりに向けた連携

保有するリソースを活用した創造的な協働の取り組みにより、地域経済の活性化や持続可能な地域社会の実現を図ることを目的として、NTT東日本様と連携協定を締結しました。この協働の取り組みの一環として、グループ会社のmanordaいわてがNTT東日本岩手支店の1階にライブマーケティングカフェをオープンしました。



AZLM CONNECTED CAFE
manordaいわて店
地域の産品を展示しており、ECサイトで購入可能

5 地方創生への取り組み



株式会社岩手銀行 明治安田生命保険相互会社
地方創生に関する連携協定締結式

明治安田生命様と地方創生に関する連携協定を締結しました。お取引先の健康経営に係るサポートを行うなど、様々な分野で相互に連携・協力し、協働した取り組みを進めています。

6 ダイバーシティ&インクルージョンの取り組み



役職員が多様なキャリアや働き方で活躍できる組織づくりを進めているところ、育児・介護休業法改正への対応として、「産後パートナー休暇制度」を新設しました。男性の育児参加を促すとともに、男性行員の育児取得率の向上を目指します。